

# 令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：35004  
 学校名：札幌市立陵陽中学校

改訂のポイント		○自ら学習に臨み、生き方を考えようとする生徒の育成を目指した取り組みの工夫 ○習熟度に差のある生徒集団に対応できる授業の工夫		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆対話を通して自らを見つめ、疑問や課題を解決する「深い学び」を実践する生徒 ☆基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、自己コントロールし、学校や家庭における学習を自律的・計画的に進めることができる生徒		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> 課題を明確にし、見やすく意欲を喚起できるよう ICT の活用を図り、学びを実感できるよう取り組んだ。	<b>【成果】</b> ⇒意見の違う人ともよく話し合おうとしたり分からないことは自分で調べてはつきりさせようとしている生徒が増えている。	<b>【課題】</b> ◇今の自分に合った学習を選択し、進めていくことに課題がある。
	思考力・判断力・表現力等	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> 課題探求的な学習につながるように話し合い活動（グループ討議）を多く取り入れた授業の展開を目指した。	<b>【成果】</b> ⇒授業中、友達や先生の説明を終わりまで聞いて、それを参考に自分の考えを見直すことのできる生徒が増えている。	<b>【課題】</b> ◇自分の意見を進んで発言しようとする生徒が増えているものの未だその割合は高くない。
	基礎的・基本的な知識及び技能	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> 学習ルールを明確にし、その定着を目指した。	<b>【成果】</b> ⇒分からないことは分かるまで努力するようにしている、同じ間違えを繰り返さないよう注意している生徒が増えている。	<b>【課題】</b> ◇特に普段から計画を立てて勉強を進めていくことに課題がある。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	<b>【取組の共有】</b> 「自ら学習に臨む生徒の育成」と「基礎基本の定着」をめざした学習指導の改善		
	具体的な改善策（取組）	○生徒自ら目的意識を持たせるような手立てを考え、より見やすく意欲を喚起するような ICT の活用や学び合い学習や話し合い活動（グループ討議）をより取り入れた、課題探究的な学習へつなげる授業の創造 ○基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるための授業の共通ルールの明確化と指導の徹底 ○少人数・チームティーチングなどによる個に応じた指導の工夫と充実 ○日常生活と関連づけた道徳教育の実践と評価、総合的な学習の時間の取組などを通じた、人としての生き方についての考えを深める学習の充実 ○教育相談や期末懇談等の相談活動を通じた計画的な家庭学習の仕方についての指導 ○校内研修会の充実（日常実践につながる研修体制づくり、日常的な授業交流など） ○小学校との連携を深めつつ、そのつながりを意識した取組		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○教科ごとの日常の評価活動や定期テスト、学期ごとの評価 ○全国学力・学習状況調査の結果の活用 ○学習等についてのアンケートを全学年での継続実施と分析 ○各種調査結果の活用（学校評価アンケートなど）		